

熟語の構成

組み合わせると言葉ができる

目標と
振り返り

□ 熟語の構成の基本的な型を知る。

「読書」や「学習」などのように、二つ以上の漢字を組み合わせられてきた語を「熟語」といいます。熟語は、次のような構成法でつくられています。

主語―述語 型

前の部分の主語を表し、あとの部分が述語となる。

例 雷鳴 国営 市立 人造 腹痛 年長

修飾―被修飾 型

前の部分があとの部分を修飾する。

例 名峰 砂丘 舞台 厳守 激動 腕力

述語―対象 型

前の部分が述語にあたる意味を表し、あとの部分が

「……を」「……に」などの対象を表す。

例 読書 出荷 乗車 帰宅 企業 拍手

同類語 型

前の部分とあとの部分が似た意味で並立する。

例 温暖 山岳 訂正 壮大 解剖 洞窟

反対語 型

前の部分とあとの部分が反対の意味で並立する。

例 善悪 是非 増減 上下 問答 明暗

接頭語 型

「不」「非」「無」「未」などの接頭語がついてあとの部分を打ち消す。

例 不覚 非常 無理 未知

接尾語 型

「的」「性」「然」「化」などの接尾語がつく。

例 公的 水性 突然 鈍化

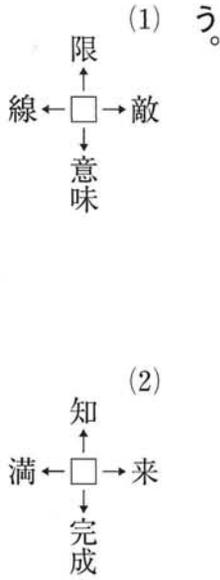
三文字以上の熟語も、すてにあげた構成の型で成り立っています。例えば「資源不足」は、「資源」が「不足」しているという意味で「主語―述語」型となります。

練習

① 次の熟語は、構成のどの型にあてはまるか、確かめよう。

- | | | | |
|---------|---------|--------|--------|
| (13) 不朽 | (9) 遷都 | (5) 握手 | (1) 当落 |
| (14) 環礁 | (10) 油脂 | (6) 添削 | (2) 公設 |
| (15) 姉妹 | (11) 秀麗 | (7) 剛性 | (3) 禍福 |
| | (12) 嗅覚 | (8) 憂鬱 | (4) 漏水 |

② 中心の□の中に漢字を一字入れ、四つの熟語を作る



この教材で学ぶ漢字

壯	訂	岳	拍	企	腕	舞	丘	峰	雷
ソウ	テイ	たけ	ハク	キ	ワン	まい	おか	みね	かみなり
壮快	改訂	山岳	脈拍	企て	手腕	乱舞	段丘	連峰	雷が鳴る
		○山岳	拍子	企画	腕前	舞い上がる	小高い丘	山の峰	

憂	剛	削	漏	禍	鈍	是	窟	洞	剖
ユウ	ゴウ	サク	ロウ	カ	ドン	ゼ	クツ	ドウ	ボウ
深憂	剛直	削減	漏電	災禍	鈍角	是正	洞窟	洞察	解剖
前途を憂える		削り取る	雨漏り		足が鈍る		洞穴		

新出音訓	出荷*	並立*	姉妹*	礁	朽	嗅	麗	秀	脂	遷	鬱
	(カ)	(ヘイ)	(シ)	シヨウ	キユウ	キユウ	レイ	シユウ	シ	セン	ウツ
			(マイ)	暗礁	老朽化	嗅覚	華麗	秀作	樹脂	変遷	暗鬱
					朽ち果てる	匂いを嗅ぐ			肉の脂		